

平成31（2019）年度

事業計画書

平成31（2019）年3月

学校法人 藤村学園

東京女子体育大学

東京女子体育短期大学

目 次

平成31（2019）年度事業計画	1
I 法人の運営	2
II 大学・短期大学の運営	5
III 事業の内容	6
1 重点事業の概要	6
2 所管別事業計画	
○教育改革推進関係事業	13
○事務局関係事業	13
○教務関係事業	14
○教職関係事業	14
○学生支援関係事業	16
○キャリア支援・就職対策関係事業	17
○学生募集・入学試験関係事業	18
○学生・教職員の健康管理関係事業	19
○教育・研究支援関係事業	19
○地域との交流関係事業	20
○図書館の運営関係事業	21
○施設の整備	22
○キャンパス整備計画	22
IV 予算概要	23
別紙1 学園組織図	
別紙2 平成31（2019）年度行事予定表	

平成 31（2019）年度 事業計画

18 歳人口の推計は、平成 31（2019）年度の 117 万人からさらに減り続け、2030 年にはおよそ 13 万人少ない 104 万人まで減少するとされています。

大学を取り巻く環境がますます厳しさを増していくなか、大学における私立の割合は 77%、短期大学においては 95%を占めており、日本の教育に大きく貢献しています。

本学においては、藤村トヨの建学の精神である「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」を基調として、新たな「知」の創造と活用を通じて、未来を切り拓き、社会に貢献できる立派な人材を輩出することを目標としています。

また、高度なスポーツ科学や健康科学に関する研究を推進し、その理論に裏づけられた実践教育を広く展開することによって社会的な責任を果たしていきます。

このような理念の下、本学はこれまでの成果を検証しつつ、教員養成機関として社会の要請に応えるとともに、教育に対する情熱とより高度な専門知識・技能を保有する実践的な指導者を育成するために邁進していきます。また、教育内容の改善・充実を最重要課題として本来の使命である教育・研究活動の一層の充実・向上に向けて弛まぬ努力と創意工夫をしていきます。

財政面においては、経営基盤の安定確保と財政収支の均衡を図り、教育・研究活動の継続を主眼においた財務計画を推進するとともに、学生及び保護者の信頼を高める教育内容の充実に一層努め、建学の精神に基づき、より魅力ある大学を目指すための改革を進めていきます。

平成 31（2019）年度は、前年度に開設した短期大学児童教育学科の保育士養成課程をさらに発展・充実させるとともに社会のニーズに柔軟に対応するべく新たな教育を展開していきます。そして 2022 年には創立 120 周年を迎えることを踏まえ、継続的に教育内容の充実に取り組むとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を目前に控え、女子体育大学・女子体育短期大学としてあらゆる限りの可能性を追求し、本書に掲げる重点事業を軸とした平成 31（2019）年度の事業を展開していきます。

I 法人の運営

1 理事会等の開催

- (1) 常任理事会 (理事 5人 週1回程度随時開催)
- (2) 理事会 (理事 9人 毎月1回開催)
- (3) 評議員会 (評議員 19人 年3回程度開催)

2 学園組織図 別紙1のとおり

3 役員・評議員・教職員

- (1) 役員
 - ① 理事 9人 ② 監事 2人
- (2) 評議員 19人
- (3) 教職員数
 - ① 教育職員 59人 ② 事務職員 57人

【教職員構成】(平成31年4月1日の予定)

(単位：人)

教育職員		事務職員				非常勤講師
学長	1	局長	1	寮生指導員	2	38
教授	31	次長	2	嘱託員	1	
准教授	14	課長・主幹	11	教務補佐員	9	
講師	12	課長代理	0			
助教	1	係長	5			
		主査	4	計 ②	57	
計 ①	59	課員	22	総計①+②	116	

4 設置する学校・学部・学科等

理事長 雨宮 忠

- (1) 東京女子体育大学
体育学部・体育学科
学長 浅見 美弥子
- (2) 東京女子体育短期大学
保健体育学科
児童教育学科
学長 浅見 美弥子

【第三者評価機関別認証評価】

大学	平成20年3月19日認証	財団法人 日本高等教育評価機構
	平成27年3月10日認証	公益財団法人日本高等教育評価機構
短期大学	平成19年3月22日認証	財団法人 短期大学基準協会
	平成26年3月13日認証	一般財団法人 短期大学基準協会

5 学部・学科の入学定員

【平成 31（2019）年度学部学科の入学定員及び収容定員】

（単位：人）

		大 学 体育学部 体育学科	短 期 大 学			総 計
			保健体育 学科	児童教育 学科	短大計	
入学 定員	入 学 定 員	340	50	110	160	500
	3 年次編入学定員	40				40
収 容 定 員		1,440	100	220	320	1,760

6 教育研究上の基本となる組織

大学等	学部	学科	コース
東京女子体育大学	体育学部	体育学科	コーチング学 体育学 スポーツ健康学
東京女子体育短期大学	保健体育学科		
	児童教育学科		幼保 幼小

7 授業料等学納金

（単位：円）

	項 目	大 学 体育学科	短 期 大 学	
			保健体育学科	児童教育学科
入学時 納入	入 学 金	300,000	230,000	230,000
	授 業 料(前期)	360,000	335,000	350,000
	施設設備費(前期)	150,000	135,000	135,000
	実験実習料	30,000	25,000	30,000
	計	840,000	725,000	745,000
後期 納入	授 業 料(後期)	360,000	335,000	350,000
	施設設備費(後期)	150,000	135,000	135,000
	実験実習料	30,000	25,000	30,000
	計	540,000	495,000	515,000
合 計 (年額)		1,380,000	1,220,000	1,260,000

8 教育施設

- (1) 校地等 52,523 m² (学生寮 2,729 m²及び借地 998 m²を除く)
- (2) 校舎等 33,860 m² (学生寮 5,111 m²を除く)
- (3) 使用目的別校舎等
- 1号館 管理棟
 - 2号館 講義室、マルチメディアルーム、ゼミ室、研究室、女子体育研究所、教職ラーニングステーション
 - 3号館 藤村総合教育センター、地域交流センター、110周年記念藤村学園資料室
 - 4号館 講義室、武道場、メディアホール、ピアノレッスン室、多目的演習室、美術室、造形室、ゼミ室、研究室、会議室、キャリア支援センター、教職センター、健康管理センター、屋上多目的運動スペース
 - 5号館 第一体育館
 - 6号館 食堂・学生ホール、合宿室、保育演習室
 - 7号館 第二体育館、第三体育館
 - 8号館 合宿室
 - 9号館 第五体育館、プール
 - 10号館 第六体育館、図書館、多目的室
 - 11号館 第七体育館
 - 12号館 事務室、会議室
クラブハウス

(※学生寮(ふじ寮) 東京都国立市青柳)

II 大学・短期大学の運営

1 教授会の開催

- (1) 定例教授会（月1回、原則として第一水曜日開催）
- (2) 臨時教授会（年7回程度開催）
- (3) 部館所長会（必要に応じて随時開催）

2 部館所長

（平成31（2019）年4月1日）

部・館・室長名	氏名
教務部長	小林 福太郎 教授
学生部長	秋山 エリカ 教授
キャリア支援部長	高柳 佐土美 教授
教職センター所長	出張 吉訓 教授
入試部長	早瀬 健介 教授
広報部長	山田 まゆみ 教授
図書館長	田中 洋一 教授
女子体育研究所長	阿江 美恵子 教授
健康管理センター所長	山田 浩二郎 教授
地域交流センター所長	平田 利矢子 教授

※ 任期は、平成31（2019）年4月1日から2021年3月31日〔2年間〕

3 平成31（2019）年度 行事予定表

別紙2のとおり

4 学生数

【大学及び短期大学の在学生数（平成31年3月1日）】

（単位：人）

学年	大学 体育学部 体育学科	短期大学			総計
		保健体育学科	児童教育学科	計	
1	381(1)	36(0)	70(2)	106(2)	487(3)
2	375(2)	33(0)	58(0)	91(0)	466(2)
3	362(0)	/	/	/	362(0)
4	382(3)				382(3)
計	1,500(6)	69(0)	128(2)	197(2)	1,697(8)

（ ）は、休学者数で内数

Ⅲ 事業の内容

本年度の事業計画は、重点事業として、「中長期計画」「教育内容等の改善充実」「研究活動の促進」「学生支援の改善充実」「キャリア支援の充実」「広報活動の充実」「地域交流事業の充実」「教育環境の整備充実」の8事業を掲げ、大学教育の質の向上を図るための計画実施に必要な経費を措置していきます。

1 重点事業の概要

(1) 中長期計画

① 中期計画の実施

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックや、2022年には創立120周年を迎えることを踏まえ、策定した中期財務計画（平成29（2017）年度から2022年度）に則して、事業を推進する。

[基本方針]

○短期大学の改革

平成30年度からの保育士養成課程の開設に伴い、今後実施する入試において受験生確保に向けて強化を図る。また、長期構想委員会（短期大学ワーキンググループ）において検討した他学科履修、科目等履修制度の改正内容の実施、充実を図り、さらに改革を進める。

○大学の改革

認証評価受審を踏まえ、長期構想委員会（大学ワーキンググループ）においてCAP制の導入、カリキュラムマップの作成等、実現に向け検討をする。

○教育改革を計画的に推進する

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、藤村トヨの建学の精神に基づく女子体育指導者の養成及びアスリートの育成を図る。

○学生数の増加を図る

教育内容・方法の改善充実、キャリア支援の強化、クラブ活動の強化を図り、本学の強みを活かした戦略的広報活動を展開し、本学への受験者数・入学者数の増加を図るとともに、きめ細かな学生への対応により中途退学者数の減少を図る。

○教育職員採用試験合格者及び採用者の増加を図る

教員採用試験で試される実践的指導力や課題対応力を高めるために施設の整備を行い、教員採用受験講座や企画講座の充実を図り、採用試験合格者、採用者を増やす対策を推進する。

○経費の削減を図る

事業の必要性及び費用の妥当性を検証するほか、一般的経費については削減目標を設定し、継続して削減する。

○120周年記念事業の推進 <新規>

2022年の創立120周年に向け、準備室を立ち上げて具体的な検討を行う。

② 長期構想計画の策定

長期構想委員会において、全学的な取り組みとして、将来計画等基本戦略及び中長期構想の具体策を検討していく。

※大学、短期大学其々のワーキンググループにおいて検討した事項の実現を目指すとともに、詳細な計画を検討していく。

③寄付金募集

恒常的な寄付金制度「教育振興寄付金」に加え、「120周年記念事業寄付金」としての募金活動を行う。

④学園資料の整理・保存

新規で収集した学園史資料の整理・保存を行う。

⑤キャンパス整備計画

将来的な5・6・7・8号館の建替えを視野に入れ、複合体育館を建設する（平成33年度完成予定）。

(2)教育内容等の改善充実

①本学の今後のあり方を踏まえた教育の質保証

大学・短期大学の教育の質を高め、学生の有意義な生活を保障するため教育・研究に関わる様々な改革・改善に取り組む。

○学生意識調査の実施

入学理由・学生生活・課外活動・学修・キャリア支援・悩み・健康に関することについて「学生調査アンケート」を実施し、その結果に基づく学生支援の分析、及び学修活動の充実を図る。

I. 学生調査アンケートの集計結果を元に、教学部門と協力して本学の課題解決に向け改善策を探る。その際、企画調査室は改善策を導き出すための分析データの提供を主として行い、具体的な改善策は担当部署が主体となって考え、実行するものとする。また学内の集積データ等を活用し、学修成果の可視化を具現化させるための取り組みに努める。

II. 教務課、学生課をはじめとした教学部門が管理するデータや調査結果を集積・分析（経年比較含む）する。またそうした集積データを可視化した「ファクトブック（データカタログ）」の作成を行い、図表から本学の特性を探る。

②2019（平成31）年度改定カリキュラムへの対応 ＜新規＞

2020年度授業時間割の編成において、教職課程及び保育士養成課程の変更に伴い改正した2019（平成31）年度改定カリキュラムを円滑に運用する。新カリキュラムへの移行にあたっては、旧カリキュラムが適用される学生にも十分配慮し実施する。

③FD活動の充実

本学の教育・研究の改善・充実を図るため組織的な取り組みを行う。

FD委員会を中心にFD研修の実施、学生による授業評価の活用等により、教員の教育意識や指導技術を高め、授業内容の改善・充実に資する。またSD委員会と連携し、学内教職員全体で職員力向上を図るべく、研修を計画・実行する。

(3)研究活動の促進

①女子体育研究所における研究の充実

研究機能の充実に努め、研究関連情報の収集・提供及び補助金申請支援等研究活動の充実を図る。

健康・体力に関する研究の一環としての体力テストを、学生主体での測定実習として行う。その結果を分析評価し、学年・学科・種目別平均値等の体力プロフィールを作成し、継続資料として蓄積する。また、児童教育学科の学生に対しては、文部科学省の新体力テスト実施要項に基づく測定項目に追加項目を加え、調査依頼にも対応する。

女子体育研究所運営委員会を中心に、共同研究の充実を図る。

②研究活動の活性化

研究者情報(業績)の一元化及び教員の事務的業務の効率化に寄与する研究者情報管理システムを引き続き活用し、研究活動を実質的に支援する。

研究活動を広く発表する場として紀要を発行し、他大学等の図書館へ配布するほか、本学図書館主導で構築した東京女子体育大学学術機関リポジトリに掲載して、さらに発表の場を広げる。なお、紀要には研究論文の他に、教員の当該年の研究活動報告を掲載する。

従来個人研究に対する補助に加え、教員が研究内容の充実を図り、その研究成果を当大学や学会等の紀要や研究誌に発表することを奨励するため、「奨励個人研究費」を引き続き設ける。

(4)学生支援の改善充実

①運動部活動の強化・充実

本学の専門性を支える運動部活動を強化し、学内の活性化及び社会的知名度を高めることに貢献するため、スポーツ系クラブから大学強化指定クラブを選抜し、計画的な強化を図る。

②学生の生活支援

入学直後のフレッシュウィークでの集中指導や学生相談箱の設置、クラス・ゼミ担任及びクラブ部長等の学生相談やオフィスアワー等を通じ、学生生活全般の支援を行う

③奨学金の給付

○藤村学園育英奨学金

本学の建学の精神に基づき、学修・研究・諸活動に真摯に取り組み、優れた資質、素質を有し着実に実績を積んでいる将来有為な学生のうち、修学を継続するために経済的援助を必要とする者に対し学資を支援し、もって本学が期待する優れた人材の育成に資する

○藤村トヨ奨励金

学業成績その他の活動を含め、建学の精神に則り模範となる学生を表彰し、学業を奨励・支援するために奨励金を授与する。

○スポーツ奨学金

スポーツ特別奨学生以外で入学後、本学のクラブ活動でその専門技能を磨き、優秀な競技成績を収めたスポーツ系クラブ選手を表彰すると共に奨学金を授与し、競技活動を奨励・支援する。

○学校法人藤村学園スカラシップ制度

(給付型奨学金入学制度) ＜新規＞

建学の精神「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」のもと、優秀な指導者を育成するために、成績優秀者、将来有為な学生を入学させることを目的とする。

スカラシップ生として選抜された入学者には、学業、生活態度において他の学生の模範となること、卒業後のビジョンを明確に持ち勉学に励むことを期待する。

○藤村学園スポーツ特別奨学金

本学の建学の精神及び教育理念に沿って本学の社会的地位の基盤に貢献しうる入学生で、インターハイ・国民体育大会・国際大会等において、優秀な成績を収め、将来が期待できる選手を支援する。

④教師力養成講座

○参観実習

教員志望者に対して、将来、教員として職責を全うしていくために必要な資質と能力の基盤を形成していくことが主たる目的である。いわゆる教員採用試験対策に終始せず、教員としての力量を高める基礎づくりに主眼を置いて事業を展開していく。

⑤教員採用試験対策講座

○教採試験対策講座

教員採用試験合格者を増やす対策を推進するため、一般教養・教職教養・専門教養の各対策講座を開講、2次試験対策としては論作文・面接指導・模擬授業対策の個別対応と集団面接の対策など、教員採用試験に向けた有効な学生の支援を実施する。

○教養対策講座

小学校全科及び中学・高等学校保健体育の教員を目指す学生に対して、教師として必要な資質と能力を形成、実践的な指導力を養成するため講座を開講する。また、教育職員採用試験に向けた基礎学力の向上を図り、教員を目指す学生への有効な支援を実施する。

(5)キャリア支援の充実

①キャリア形成支援

学生が生涯にわたって正しい職業観・勤労意欲を身に付け、自分に適した職業を見つける能力と勤労意欲を養い、自主的・積極的に就職活動を進められるように、入学時から体系的・計画的な支援、指導を行う。

キャリアデザイン授業と就職活動支援。必修科目「キャリアデザイン」は学生のキャリア形成を自分自身で考え、明確にしていくための授業で、これからのキャリア形成に必要な力をつけさせていく。

就業体験をすることにより、学生の就職意識の啓発・深化を図り主体的な職業選択能力を養成するため、インターンシップを実施する(平成29年度から単位化)。

②就職活動支援

就職・資格ガイダンスの実施。学生の意識と基礎的就職力を養成し、レベルアップを図るため、就職対策講座等を実施し、就職活動を支援する。就職活動に向けて基礎的な講座を行い、就職の理解を深め、継続して取り組み、直前講座に繋げる。対象は「大学3年短大1年生全員」とする。

学生の就職を実現するため、就職相談・職業紹介・学内合同企業説明会等を実施する。

卒業学年の進路状況の把握、集計、記録、分析を行い、よりよい支援体制の検討や支援プログラムの展開を行う。

就職推進懇談会や企業への訪問を行い、学生の就職実現のための情報収集、意見交換及び幼稚園・体育施設・企業関係者への積極的な働きかけを行う。

③資格取得支援

○各種資格取得支援

- ・資格取得の助言・指導を行い、学生のキャリアアップを図る。
- ・健康運動指導士、健康運動実践指導者等資格取得のための対策講座を開講する。
- ・秘書技能検定（学内で試験実施）

○社会体育施設実習

- ・社会体育施設についての理解を深め、社会体育指導者としての資質を養い、社会体育施設への就職の機会を広める。

(6)広報活動の充実

①広報が担う大学存在価値の訴求

大学の「存在価値」を全国的に浸透させる活動は学生募集の基盤であり、その継続的な取り組みが「少子高齢化社会」における喫緊の課題である。

「本学の業績や本学関係者及び本学学生の活躍等を社会に知らせ、それを広めることで社会的な存在価値を高め、優秀な人材を入学させることができる。」というコンセプトの下、さらなる確立を目指して、情報発信力を継続的に強化し、積極的な広報活動を行う。

心に訴える言葉として「一生ものの、姿勢をつくる。」をキャッチフレーズに、「建学の精神」に則った大学のイメージを活かした広報活動を行う。

また、「TWCPE」と「東女体大」を大学のロゴとして効果的に活用する。

現在、大学ブランドを全国に訴求する手段として、広告ツールを充実し、活用できるあらゆるメディアの訴求力を最大限に利用しているが、さらに強化する。

広報活動の継続的な充実と幅広い展開は、31年度以降の中期的構想の目標達成には不可欠である。

本学のブランディング戦略及び独自の広報活動を立案実施し、大学ブランドを全国に訴求する。

②戦略的學生募集広報

戦略的學生募集は、「本学への初期接触者を増やし、出願まで結びつける。」と

いう基本コンセプトに則り広報活動を行っている。

その実現のために、本学の本質的な魅力を発掘し、情報誌、情報サイト、多様なメディアを利用して広く伝えるとともに大学要覧やホームページのさらなる充実とオープンキャンパスの質的改善を行い、積極的な学生募集における広報活動を行っていく。

その一環としてスマートフォンを利用したLINE@で本学を友だち登録した高校生等に大学からのメッセージを配信する。競技スポーツ系クラブの協力を得て、本学学生と高校生の合同練習会を開催し、本学を身近に感じてもらうとともに、情報を提供し、より理解してもらう。

また、全国的に高校教員との人的ネットワークの展開のために本学同窓会の協力の下、大学と同窓生教員との繋がりを強化して、同窓生教員への大学からの情報提供を強化する。

③進路アドバイザーによる学生募集広報の発展

訪問実績を踏まえ、学生募集活動をさらに充実させて継続的に実施する。特に関東エリアでは、前年の訪問校を継続しつつ、新規校開拓の広報活動を展開する。

早い時期に多くの高校へ大学案内等を配布するために業者による高校訪問代行も展開する。

(7)地域交流事業の充実

①公開講座

本学の研究・教育の成果を地域に開放し、生涯学習の場を提供する公開講座を充実し、本学と地域社会との交流を図る。

対象を幼児から成人までの5区分で実施する。

幼児・小学生講座は、総合的な動きづくりとスポーツの楽しさに重点を置き、発育発達期に応じた講座の充実を図る。また、文化や科学のこころを育てる講座も開講する。

高校生講座は本学の教育の魅力をアピールする機会でもあるため引き続き実施する。

成人講座は、スポーツを医・科学や運動学、スポーツ栄養学から捉え、健康づくりや生涯スポーツを楽しむ講座の充実を図る。

小学生から成人までの年齢に関係なく一緒に楽しめる共通講座の充実を図る。

②定期レッスン

近隣の子どものスポーツ振興と地域交流の促進を図るとともに、本学学生の指導法の実践学習に資することを目的とし、定期的に有料講座を開講する。

③ジュニア・ユースクラブ

近隣の子どものスポーツ振興と地域交流の促進を図るとともに、本学学生の指導法の実践学習に資することを目的とし、会員制のジュニア・ユースクラブを実施する。

3種目(新体操、ヒップホップ、サッカー)すべてにおいて、さらに地域に根付いたクラブを目指し、地域イベントなどにも積極的に参加しながら、大学と地域の交流の場も広げ、会員数の安定と活動内容のさらなる充実を図る。各種目クラス編成については昨年度同様とする。

④ジュニア・ユースクラブ強化推進

東京 2020 オリンピックも近づきスポーツへの関心が高まる中で、スポーツを通して子供達の夢をかなえる大学独自の地域貢献事業の取り組みとして、より専門的に技術力を養い、競技としてのスポーツを親しむ場の提供を継続して行う。

外国人特別講師招聘では最先端の指導を受け、さらなる技術力向上を図る。国内競技会、強化合宿等にも積極的に参加し、競技力の強化を行う。

(8) 教育環境の整備充実

教育環境の整備充実として、大学構内の施設・設備について平成 31 (2019) 年 4 月～2020 年 3 月の工期の中で次のような施策を実施し、安全・安心に係る事項の推進や快適空間の確保など教育環境の整備充実を図っていく。

① 校内蛍光灯照明設備 LED 化改修工事では、これまでの水銀灯照明の LED 化の完了に引き続き、10 号館図書館、1 号館 1 階 2 階 3 階執務室などの建物設備の蛍光灯照明について、できるだけ早期に、照明力の一層の向上、省エネルギー対策、取替メンテナンスの省力化などコスト削減効果のある LED 化照明への改修工事を実施していく。

② 各建物耐用年数向上化対策改修工事では、1 号館～12 号館(2 号館及び 4 号館を除く)の各建物の施設・設備の劣化度診断の結果に基づき、建物周辺フェンス塗装、各建物内扉・壁・天井張り替え・塗装等について緊急性を踏まえて、順次に耐用年数の向上に必要な改修工事を実施していく。

③ 校内電気設備更新修繕工事 5 年計画では、6 号館・8 号館・1 号館の各受変電設備が 1975 年、1977 年、1982 年と設置から 43 年、41 年、36 年になり一般的な耐用年数(約 30 年)を経過している。そのため、現状では外観上の不備がないものの経年劣化による機能低下となる前に緊急性を踏まえて新規設備へと取替更新を実施していく。

④ Windows7 のサービス提供の終了に伴う PC 機器の更新では、2020 年 1 月 14 日の Windows7 の延長サポート期間の終了に伴い、該当 PC に対して必要な仕様変更やセキュリティー更新プログラムサポートが受けられなくなる。そのため、学内配置の該当 PC について順次新規更新していく。当面、約 100 台程度の PC 更新を図っていく。

2 所管別事業

○教育改革推進関係事業【総務課・企画調査室】

(1) 学生による授業評価の実施

教員の教育意識や指導技術を高め、学生の視点に立った授業内容の改善に資するため、大学（体育学部体育学科）、短期大学（保健体育学科、児童教育学科）において、全科目、全クラスを対象に学生へのアンケート調査を実施する。

実施時期 前期授業 6月下旬～7月 後期授業 11月下旬～2月中旬

学外・集中授業 8月～9月、12月～3月上旬

科目数 約 340 科目 授業数 約 680 クラス 履修者数 延べ 4 万 4 千人

自己点検評価の一環として実施しており、調査結果を各担当教員へ通知する。各教員が調査結果を分析し、改善策等についてコメントしたものを報告書としてまとめ、学生のみならず教職員の閲覧に供し教育の質を向上させる。

(2) 自己点検評価報告

教育実践の一層の改善・充実を図るため、教育・研究活動の現状について自己点検評価を行う。2019（平成 31）年度は、平成 30 年度の点検を行い、平成 29 年度分と併せて「点検・評価年報」としてまとめ、ホームページに掲載するとともに冊子を作成し公開する。

(3) 学園研修の推進

大学設置基準の改正により、SD研修の位置付けが事務職員のみならず教育職員も含めた研修となった。それに伴い、教育職員と事務職員とが共に職員としての質向上、学園の発展を目指して組織的な研修活動を推進する。

(4) FD活動の推進

授業内容の改善・充実を図るための組織的な活動を推進する。FD委員会を中心にFD研修の実施、入学前教育の検討を行い、さらなる充実を図る。

(5) ティーチングポートフォリオの作成

年度ごとのシラバス、授業評価結果等を教員ごとに管理・保管し、継続的な教育改善に資する。

○事務局関係事業【総務課・経理課・募金担当・企画調査室】

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック プロジェクト

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、平成 26 年度に立ち上げたプロジェクト本部及び専門委員会を中心に本学の資源を生かした方策を検討すると共に講座等を実施する。

(2) 寄付金募集

新入生保護者も加えて、120 周年記念事業としてのキャンパス計画を基に、教育研究に要する経費、奨学金支給を含む多様な学生生活活動への支援経費及び校舎その他付属設備の取得・改修費に係る資金調達のため募金活動を行う。

(3) 事務職員研修（SD研修）

事務職員の能力向上のため、SD推進プロジェクトチーム（SD推進PT）を中心に学内研修会の開催等、組織的に対応する。

(4) 「学園報」の発行

学園の基本情報を学内・学外に広く提供・周知するため「学園報」を定期的に発行する。

(5) 国際競技会等に対する報奨金

高次の国際競技会に日本代表として出場した時に、大会成績に応じて報奨金を授与する。

(6) 本学の今後の在り方を踏まえた教育の質の保証（学修実態調査）

IR (Institutional Research) 活動の一環として大学・短期大学の全在生を対象に、入学理由・学生生活・学修などの質問項目から、本学における学修実態の把握を行う。アンケート実施後は、その結果を定量的に分析し、教育の質の向上を目指す。

○教務関係事業【教務部 教務課】

(1) 履修指導の充実

学部、学科のカリキュラムを基に、学生一人ひとりの能力・適性、興味・関心に応えられる多様な教育メニューを整え、充実した学習ができるよう履修指導等を充実し、支援していく。また、履修登録、成績管理、卒業認定単位の確認、休講・補講・教室変更等の情報など、学生情報に関する新教学システム「UNIVERSAL PASSPORT」の充実・強化を図り、学生及び教職員に対して教学事務の利便性の向上を図っていく。

(2) 学外実習・演習

夏季学外講座 6 科目 冬季学外講座 5 科目

(3) 創作オペレッタ発表会

短期大学児童教育学科 2 年生の参加により、カリキュラム授業の中で創作劇の脚本、演出、音楽、出演など学生自身で行う創作オペレッタ発表会を開催する。

(4) 導入教育の実施

ア) 「藤村トヨの教育」（講義・演習 1 単位） 「国語基礎講座」（講義 2 単位）

新入生対象／大学・短期大学

イ) フレッシュマンセミナー

保健体育学科 1 年対象／水泳（含海浜実習）

児童教育学科 1 年対象／野外活動演習

(5) キャリア教育の実施

「キャリアデザイン」（講義・演習 1 単位） 新入生対象／大学・短期大学

(6) 履修形態の多様化

ア) 科目等履修生の受け入れ（大学・短期大学）

イ) 他学科履修制度（短期大学児童教育学科・10 単位以内）

ウ) コース制

短期大学児童教育学科

幼小コース（幼稚園教諭・小学校教諭）/ 幼保コース（幼稚園教諭・保育士）

(7) 授業運営の充実・効率化

ア) スチューデントアシスタントの活用

イ) 出席管理システムの活用

(8) 聴覚に障がいのある学生への支援

ア) ノートテーカーの配置

○教職関係事業【教職センター 教職課】

(1) 教育実習の実施

大学体育学部体育学科 4 年	300 人
短期大学保健体育学科 2 年	3 人
短期大学児童教育学科 2 年 (小学校)	59 人 (科目等履修生を含む)
短期大学児童教育学科 2 年 (幼稚園Ⅳ)	44 人 (科目等履修生を含む)
短期大学児童教育学科 2 年 (保育実習Ⅱ)	34 人
短期大学児童教育学科 1 年 (幼稚園Ⅲ)	80 人
短期大学児童教育学科 1 年 (保育実習 1)	60 人
短期大学児童教育学科 2 年	

(2) 介護等体験の実施

大学体育学部体育学科 2 年・3 年	300 人
短期大学保健体育学科 1 年	20 人
短期大学児童教育学科 1 年	25 人

(3) 教員免許状更新講習の実施

教員免許法の改正により、平成 21 年度以降に交付される教員免許状には、10 年間の有効期限が付されることとなった。これを受けて、既に免許状を保有している現職教員を対象に、教員としての最新の知識技能を身につけるため、10 年に 1 回の更新講習を受講することとなっている。

本学は、昨年度に続き文部科学大臣の認定を受け、同講習会を開講する。

◆ 講習の内容及び講習時間

① 【必修領域講習】 全ての受講者が受講する領域 (6 時間)

国の教育施策や世界の教育の動向、教員としての子ども観・教育観等についての省察、子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見、子どもの生活の変化を踏まえた課題

② 【選択必修領域講習】 受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は経験に応じ、選択して受講する領域 (6 時間)

学習指導要領の改訂の動向等法令改正及び国の審議会の状況等、カリキュラム・マネジメント、教育の情報化 (情報通信技術を利用した指導及び情報教育 (情報モラルを含む))

③ 【必修領域講習】 教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項 (18 時間)

授業に活かす保健体育科教育の改善と工夫 (講義・実技)

(4) 教師力養成講座

【参観実習】

教員志望者に対して、将来、教員として職責を全うしていくために必要な資質と能力の基盤を形成していくことを目標に、公立小学校等にて参観し、教員としての力量を高める基礎づくりを行う。

(5) 教員採用試験対策講座

【教職ラーニングステーション】 開設

教員採用試験で試される実践的指導力や課題対応力を高めるために施設の整備を行い、教員採用受験講座や企画講座の充実を図り、採用試験合格者、採用者を増やす対策を推進する。

【教養対策講座】

小学校全科及び中学・高等学校保健体育の教員を目指す学生に対して、教師とし

て必要な資質と能力を形成、実践的な指導力を養成するため講座を開講する。また、教育職員採用試験に向けた基礎学力の向上を図り、教員を目指す学生への有効な支援を実施する。

【教採試験対策講座】

教員採用試験合格者を増やす対策を推進するため、一般教養・教職教養・専門教養の各対策講座を開講、2次試験対策としては、論作文・面接指導・模擬授業対策を個別で対応し、教員採用試験に向けた有効な学生の支援を実施する。

○学生支援関係事業【学生部 学生課】

(1)フレッシュウィークの実施

新入生が大学での学習の魅力を肌で感じ、新鮮な印象と期待感を持って学園生活をスタートできるよう期間を設け、授業ガイダンス、キャリア支援、クラブ活動、学友会活動など学園生活に必要な事項のオリエンテーションを年度当初に集中的に行う。

(2)クラブ活動の充実

ア) 国際試合等海外遠征支援(補助金の支給)

イ) クラブ活動支援

運営指導必要経費(学外指導者連絡費等補助金の支給) 対象クラブ: 38クラブ

ウ) 特別学外指導者の配置 対象クラブ: 5クラブ

エ) 学外指導者の配置 対象クラブ: 21クラブ

(3)藤園祭(学園祭)の実施

11月3日(文化の日)を中心とした2日間に、様々なイベントや模擬店等を学生からなる藤園祭実行委員会が企画・運営し、地域の人たちとのコミュニケーションを図る。

(4)奨学金の給付

ア) 藤村学園育英奨学金

大学・短期大学在校生対象 予算額: 1,100万円(本学独自の奨学金)

イ) スポーツ奨学金

大学・短期大学在校生対象 予算額: 400万円(本学独自の奨学金)

ウ) 藤村トヨ奨励金

大学・短期大学在校生対象 予算額: 90万円(本学独自の奨学金)

エ) 国際競技会等に対する激励金

大学・短期大学在校生対象 予算額: 250万円(本学独自の奨学金)

(5)日本学生支援機構奨学金の貸与(平成30年10月1日現在の実績)

第一種奨学金(無利子) 272人

第二種奨学金(有利子) 569人

(6)学生相談

ア) 学生相談箱の設置

イ) 相談担当教員による相談、臨床心理士等によるカウンセリング

(7)オフィスアワーの実施

学生のより豊かな学習活動を支援するため、全教員が曜日と時間を設定し、学生の相談等に応じ、きめ細かい支援をする。

(8) 学生寮「ふじ寮」の運営

寮生数(想定) 新入生 150 人、在寮生 100 人 合計 250 人

○キャリア支援・就職対策関係事業【キャリア支援部 キャリア支援課】

(1) ガイダンス・講習等

ア) 就職オリエンテーション 〈全学生〉

フレッシュウィーク就職オリエンテーション前期 1 回 後期 1 回

キャリアガイダンス 年間 10 回

イ) 資格取得オリエンテーション 年間 12 回

(2) キャリア支援

ア) 印刷物の作成

就職ガイド『「なりたい!」の実現を目指して』 大学 3 年、短期大学 1 年

イ) キャリアカウンセリング 〈全学生〉

専門のキャリアコンサルタントを配置して、学生の進路相談に応じる。

応募書類の添削指導、学生の個人指導・アドバイスをを行う。

ウ) 卒業生も含め、個々の学生の就職相談に応じる。

エ) キャリア支援関係情報の収集・提供

(3) 就職活動支援

ア) 就職対策講座

就職対策講座Ⅰ(基礎) 大学 3 年・短期大学 1 年生全学生対象

公務員コース(後期週 1 回 全 7 回) 50 人

一般企業・体育施設コース(後期週 1 回 全 6 回) 250 人

就職対策講座Ⅱ(直前) 大学 3 年、短期大学 1 年 100 人

筆記試験対策講座 大学 3 年・短期大学 1 年 30 人

イ) インターンシップ(1 単位) 夏季休業中 大学 2・3 年、短期大学 1 年 100 人

(4) 各種資格取得支援

社会体育施設実習 大学 4 年 20 人 短期大学(保健体育学科) 2 年 10 人

健康運動指導士認定試験対策講座 大学 4 年 10 人

健康運動実践指導者認定試験対策講座

大学 3・4 年 40 人 短期大学(保健体育学科) 2 年 10 人

共通科目Ⅰ集中講座 短期大学(児童教育学科) 1・2 年 30 人

日本赤十字社救急法講習会 全学年 50 人

日本赤十字社水上安全法講習会 全学年 20 人

秘書検定講座 「秘書検定 2 級」 10 月講座開講

(5) 対外活動

対外的な活動によって情報を収集し、新たな就職先を開拓する。また、後援会支部会等
に出席し、就職に関する情報を提供するとともに、保護者の理解と協力を得る。

ア) 就職推進懇談会等

幼稚園長懇談会

体育施設関係、一般企業関係懇談会

イ) 訪問活動

体育施設、一般企業等
後援会支部懇談会

○学生募集・入学試験関係事業【入試課・広報課】

(1)入学試験の実施

- ア) A0型入学試験（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期）
- イ) 推薦入学試験（公募推薦、指定校推薦、スポーツ推薦）
- ウ) 一般入学試験（Ⅰ期、Ⅱ期）
- エ) センター試験利用入学試験（Ⅰ期、Ⅱ期）
- オ) 大学3年次編入学試験（Ⅰ期、Ⅱ期）

(2)学生募集活動

- ア) オープンキャンパス（6回）の実施
- イ) 高校訪問
- ウ) 進学説明会への参加
- エ) スポーツ推薦の学生募集
- オ) 進学予備校主催進学説明会に参加
- カ) 高大合同クラブ練習会での広報

(3)広報活動

- ア) 高校生・他大学等対象「大学要覧」の発行（A4版 18,000部）
- イ) 広報誌の発行

「ヘッドライン」	年1回 延 3,500部（保護者向け・在学生）
「ラブスポ」	年1回 延 15,000部（学外向け・保護者向け・ 在学生・高校生）
「短期大学ハンドブック」	年1回 8,000部（高校生向け）

- ウ) ホームページによる広報
大学案内、入試案内、オープンキャンパス開催案内、資料請求等
- エ) インターネット（パソコン・スマートフォン）を利用した広報
- オ) 受験雑誌、新聞、広告等による広報
- カ) 指定校ポスター等の制作・掲載・配付
- キ) 交通広告による広報

(4)スポーツ特別奨学生の運営

建学の精神に基づき、本学の教育理念に沿って本学の社会的地位の基盤に貢献し、かつ高度な実践研究に資する素材としての優秀な技能を有する学生を支援する。

Aランク 入学初年度費用相当額(入学金、授業料、施設設備費、実験実習費)及び次年度の授業料(前後期)相当額を免除する。ただし、次年度の免除については別に定める基準により評価し決定する。

Bランク 入学初年度費用相当額(入学金、施設設備費)を免除する。

Cランク 入学初年度費用相当額(入学金)を免除する。

(5)スカラシップ制度(新入生)の運営

建学の精神に基づき、本学の教育理念を理解し、一般入学試験及びセンター試験

利用入学試験において優秀な成績を修めた学生に対し、奨学金として入学初年度費用相当額（授業料 1/2 程度）を給付し、入学後の学修意欲を高めることを目的とする。

○学生・教職員の健康管理関係事業【健康管理センター】

医療法に基づく認可を受けた「診療所」として、治療処置の初期対応や迅速な措置を行うことにより学生・教職員の健康管理の充実を図る。

学生の健康診断に基づき学生一人ひとりの健康を医師が専門的に管理し、健康の保持増進に努める。

また、新型インフルエンザ等感染症は、学生をはじめ学園に関わる全ての者に注意喚起をするとともに、予防対策と発症時の対応を適宜・適切に行う。

- (1) 定期健康診断と事後措置（学生 4月実施）
- (2) 定期健康診断と事後措置およびストレスチェックの実施（教職員）
- (3) 医事相談（外科、内科、整形外科 他全般）
- (4) リハビリ相談（理学療法士による相談、指導）
- (5) 精神衛生相談（臨床心理士による心理相談）
- (6) 応急手当・保健指導

○教育・研究支援関係事業【女子体育研究所】

女子の体育・スポーツ・レジャー・ニュースポーツ等とこれに関連する研究調査を行い、その向上、発展に資することを目的とし、その成果を教職員・学生のみならず広く社会へ公開し、社会の発展に寄与する。

(1) 教員の個人研究・共同研究に対する補助

個人研究（本学教員） 共同研究（新規 2 件予定）

(2) 研究フォーラムの開催

研究フォーラムを開催し、女子体育研究所共同研究、教員の個人研究及び共同研究の成果を本学教員と学生に発表する。

(3) 「紀要」、「所報」の発行

「紀要」は教員の研究成果を論文として発表する機会を設けるため毎年発行し、全国の大学や国立国会図書館・関係出版社等にも配布するとともに東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学術機関リポジトリで発表する（第 54 号）。

「所報」は研究所の研究事業及び共同研究を研究報告として発表する場として毎年発行し、全国の大学等に配布すると同時に東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学術機関リポジトリで発表する（第 13 号）。

(4) 研究者情報の開示（教員の研究業績の開示）

- ① 本学の研究資源として、教員の持っている知的資源、資質・能力及び本学独自の研究指導成果を広く公表する機会とする。
- ② 教員の研究領域や分野を相互に理解し、研究活動を充実させ、研究集団としての価値を高める機会とする。
- ③ ホームページ（教員情報）、researchmap(教員名又は大学名で検索)および J-GLOBAL

(researchmap の教員から検索) において、本学教員の研究業績の開示を行っている。

(5) 学生に対する体力テストの実施と測定結果の活用

(被検者は大学・短期大学各 1・2 年生および競技系クラブ所属 3・4 年生、検者は大学 3・4 年生)

文部科学省及び全国大学体育連合へデータ提供する。

○地域との交流関係事業【地域交流センター】

地域社会からの要請に応じて大学の教員や学生を派遣し、地域の教育、文化、スポーツ等の活動を支援するとともに、大学主催事業である公開講座、定期レッスン、ジュニア・ユースクラブの運営・実施により、地域の発展に寄与する。

(1) 公開講座の開催

公開講座 (18 講座) は、地域の方が自由に参加することのできる講座を無料と有料 (実費徴収) で提供する。

幼児講座	3 回開講	各 20～30 人
小学生講座	6 回開講	各 15～50 人
高校生講座	6 回開講	各 50 人
共通講座	3 回開講	各 30～40 人

(2) 定期レッスン

定期レッスンは、専門的内容の定期講座を有料で提供する。

新体操 7 回開講 各 50 人 (小学生～高校生対象)

(3) ジュニア・ユースクラブの開催

ジュニア・ユースクラブは、会員制、通年で継続的に事業運営する。

① 新体操クラブ

一般コース	キッズ	3 クラス	毎週 1 回	各 15 人
	ジュニア	7 クラス	毎週 1 回	各 20 人
	ユース	1 クラス	毎週 1 回	15 人
育成コース		4 クラス	毎週 1 回	各 8～15 人
選手コース		2 クラス	毎週 4～5 回	各 8～15 人

② ヒップホップクラブ

ヒップホップ	1 クラス	毎週 1 回	15 人
--------	-------	--------	------

③ サッカークラブ

サッカー	2 クラス	毎週 1 回	20 人
------	-------	--------	------

(4) ジュニア・ユースクラブの強化推進事業 (新体操クラブ)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会も近づきスポーツへの関心が高まる中で、スポーツを通して子供達の夢をかなえる大学独自の地域貢献事業の取り組みとして、より専門的に技術力を養い、競技としてのスポーツを親しむ場の提供を継続する。また、会員の競技力強化・育成を図るため、外国人特別講師の招聘を行い、国内競技会および強化合宿東京都新体操ジュニアの育成・強化練習会にも積極的に参加する。

(5) ボランティア講座の開催 (学生対象/5 講座/講義・演習)

学生にボランティアの意義、理論を学ばせ、演習を通してボランティア実践の方法を学

ばせる。

(6) ボランティア活動

教育、文化、スポーツ等に関する地域社会からの要請に基づき、教員、学生を派遣し、社会貢献の一環とする。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会ボランティアへ参加する学生の支援をする。

○図書館の運営関係事業【図書館】

大学附属図書館は大学における教育・研究活動を支える重要な基盤機関であり、また総合的な教養の場でもある。この目的を達成するために学生の教育・学修、教員の研究活動を支援し、図書をはじめとする雑誌、新聞、映像、電子資料、学園史資料の収集・提供・保存を行う。

(1) 図書等資料の収集・整理・保存（蔵書冊数予定 185,000 冊）

図書受入予定	約 4,000 冊
雑誌所蔵予定	約 800 種
新聞所蔵予定	約 14 種
映像資料所蔵予定	約 100 タイトル
データベース予定	約 7 種

(2) 図書貸出予定冊数 年間 約 4,000 冊

(3) レファレンス・サービス

(4) 学外機関との相互協力

図書館間の資料の相互補完

国立情報学研究所の目録所在サービスへの図書・雑誌所蔵登録

(5) 開館時間の延長

学生の学修時間の確保をめざす為、平日授業終了後 19 時、土曜日は 14 時とし、試験期間、卒研提出期間前には 20 時まで開館する。

(6) 広報活動

図書館だより 「リーヴル」 年 2 回発行

ホームページ（図書館ページ）の更新

(7) 平成 31 年度図書館運営委員会行事予定

ライブラリー・ツアー	調査・研究に役立てるために、図書館の資料の場所を知り、検索方法や利用法を身に付けさせる。	5、6、11 月の水曜日 3・4 限 (延べ 12 回予定)
読み聞かせの会 「絵本から広がる子育て」	絵本を入口に子どもと一緒に楽しむ。	5 月 第 2 週土曜日
図書館は楽しい —子どもと一緒に— 絵本の読み聞かせ 紙芝居 クラフトワーク他	学園祭にあわせ図書館を地域に開放して、児童教育学科の学生と子ども達との交流を図り、地域社会への貢献を行うことにより、図書館の有効な利用法の一つとする。	11 月 藤園祭期間 午後 1 時～2 時

(8) 地下書庫の図書整理

25,000冊余りの図書から、資料的に貴重な明治・大正・昭和初期の専門学校時代からの図書が数多く含まれる10,000冊余りの図書を選別、登録、棚卸可能な状態にして確保するとともに、それ以外の図書については順次廃棄をし、地下書庫を有効利用できるようにする。

○施設の整備【管財課】

(1) 校内蛍光灯照明 LED 化改修工事

平成28年度、平成29年度、平成30年度の水銀灯等照明 LED 化改修工事に引き続き、2019（平成31）年度では校内各建物の蛍光灯照明 LED 化改修工事を実施する。2019（平成31）年4月から2020年3月の工期のなかで、10号館図書館、1号館1階2階3階執務室、8号館1階シャワー室2階合宿室、6号館3階合宿室・保育演習室の各蛍光灯照明について、できるだけ早期に、順次に、照明力の一層の向上、省エネルギー対策、取替メンテナンスの省力化などコスト削減効果が発揮できる LED 化照明への変換のための改修工事を実施し、教育環境の向上を図る。

(2) 各建物耐用年数向上対策改修工事

2019（平成31）年4月から2020年3月の工期のなかで、1号館～12号館（2号館及び4号館を除く）の各建物の給排気ファンの更新や天井・外壁のひび割れ・各扉の更新補修など経年劣化による機能低下となる前に、安全と安心の施設設備の充実に向けた耐用年数向上対策に必要な改修工事を実施する。

(3) 校内電気設備更新修繕工事5ヶ年計画

本年からの5ヶ年計画により、6号館、8号館、1号館の1980（昭和55）年前後に設置された各受変電設備について、外観上は不備のないものの経年劣化による機能低下となる前に計画的に新規設備へと取替更新を実施し、安定的な教育環境の基盤整備を図っていく。

(4) Windows7 のサービス提供の終了に伴う PC 機器の更新

2020年1月14日のWindows7の延長サポート期間の終了に伴い、該当PCに必要な変更や仕様変更やセキュリティー更新プログラムサポートが受けられなくなる。そのため、学内配置の該当PCについて順次新規PCに更新していく。2019（平成31）年度では約100台程度の更新を行う。

○キャンパス整備計画

複合体育館建設

第7体育館北側用地に移設したテニスコート跡地に、複合体育館を建設する。

複合体育館は、二つの体育館と多目的ルーム及びトレーニングルームを有する地下1階、地上5階の31.9mの高さで実施設計に入っている。

新体操競技が主用途の15mの高さを備えた第1体育館、バレーボールやバスケットボールが主用途の12.5mの高さを備えた第2体育館、クラブ活動と各クラブの基礎練習として使用できる多目的ルーム及びトレーニングルームを設置する。

2022年の創立120周年の記念事業として、2019年9月に着工し2021年8月末に竣工予定である。

IV 予算概要

1. 予算編成の概要

平成 31 年度予算は、予算編成方針に基づき教育研究用予算及び事業計画に係る予算ヒアリングを実施し、理事査定、予算委員会を経て編成いたしました。

平成 31 年 2 月 20 日（水）開催の第 10 回理事会において事前審議後、2 月 27 日（水）開催の第 3 回評議員会へ諮問、3 月 13 日（水）開催の第 11 回理事会で承認されました。

私学を取り巻く環境は益々厳しいなか、本学の将来を見据えた教育・研究を推進するためには財政の健全化を図りながら学園運営を行っていく必要があります。

短期大学の学生数は若干増加するものの、大学では約 50 名の減少が予想されるため、厳しい予算編成となりました。

教育研究経費、管理経費については既存事業を見直し、新規事業が展開できるよう配分いたしました。平成 31 年度はオリンピック・パラリンピックの前年度となるため、本学の特徴を生かした市民講座や、オリパラ講座等の事業が展開できるよう予算計上しました。

平成 30 年度より新規程の奨学制度がはじまり、平成 31 年度も引続き経済支援、学業やスポーツ優秀者の支援、スカラシップ制度及び国際大会参加者の激励や報奨等、多彩な奨学制度に予算配分しました。

また、教職センターアドバイザーが常駐する「教職ラーニングステーション」を設置し、新規事業に予算計上しました。

キャンパス計画では、既存テニスコート跡地に複合体育館建設が始まります。既存の施設設備関係予算は、緊急性の要するものから随時整備できるよう配分するとともに、学内パソコン及び教学システムの更新を行います。

また、劣化度診断による建物長寿命化安全対策を行い、教育環境の改善・充実に努めて参ります。

2. 学生数

(1) 新入生数（31年度新入生数は、Ⅲ期AO型入試までの実績を基に算出した推計値） （単位：人）

区分	入学定員	31年度見込	30年度（5/1）	増△減	備考（31年度充足率）
大学 体育学部	340	340	386	△ 46	100%
大学 3年編入	40	25	31	△ 6	62%
短大 保健体育学科	50	40	36	4	80%
短大 児童教育学科	110	80	73	7	72%
計	540	485	526	△ 41	89%

(2) 在籍者数（退学・除籍・9月卒業 52人、留年者25人） （単位：人）

区分	収容定員	31年度見込	30年度（5/1）	増△減	備考（31年度充足率）
大学 体育学部	1,440	1,483	1,530	△ 47	102%
短大 保健体育学科	100	76	69	7	76%
短大 児童教育学科	220	152	137	15	69%
計	1,760	1,711	1,736	△ 25	97%

資金収支予算書

2019年 4月 1日 から
2020年 3月 31日 まで

(単位 千円)

収入の部			
科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	1,874,567	1,865,590	8,977
手数料収入	24,940	26,090	△ 1,150
寄付金収入	10,000	10,000	0
補助金収入	(110,150)	(110,160)	(△ 10)
国庫補助金収入	110,000	110,000	0
地方公共団体補助金収入	150	160	△ 10
資産売却収入	0	100,000	△ 100,000
付随事業・収益事業収入	150,650	173,240	△ 22,590
受取利息・配当金収入	126,000	131,000	△ 5,000
雑収入	115,823	111,435	4,388
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	547,250	567,300	△ 20,050
その他の収入	1,430,538	1,100,574	329,964
資金収入調整勘定	(△ 605,508)	(△ 651,954)	(46,446)
期末未収入金	△ 103,283	△ 108,989	5,706
前期末前受金	△ 502,225	△ 542,965	40,740
前年度繰越支払資金	1,777,790	1,997,686	△ 219,896
収入の部合計	5,562,200	5,541,121	21,079

(単位 千円)

支出の部			
科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減
人件費支出	1,291,880	1,279,528	12,352
教育研究経費支出	516,057	497,986	18,071
管理経費支出	190,892	193,175	△ 2,283
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	1,155,203	252,026	903,177
設備関係支出	53,385	60,019	△ 6,634
資産運用支出	494,077	1,461,436	△ 967,359
その他の支出	29,865	40,429	△ 10,564
[予備費]	(10,000)	(10,000)	(0)
資金支出調整勘定	(△ 31,865)	(△ 31,268)	(△ 597)
期末未払金	△ 22,900	△ 20,900	△ 2,000
前期末前払金	△ 8,965	△ 10,368	1,403
翌年度繰越支払資金	1,852,706	1,777,790	74,916
支出の部合計	5,562,200	5,541,121	21,079

事業活動収支予算書

2019年 4月 1日 から
2020年 3月 31日 まで

(単位 千円)

教育活動収入	事業活動収入の部	科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減	
		学生生徒等納付金	1,874,567	1,865,590	8,977	
手数料	24,940	26,090	△	1,150		
寄付金	3,000	3,000	0			
経常費等補助金	(110,150)	(110,160)	(△)	10)		
国庫補助金	110,000	110,000	0			
地方公共団体補助金	150	160	△	10		
付随事業収入	146,650	169,240	△	22,590		
雑収入	115,823	111,435	4,388			
教育活動収入 計	2,275,130	2,285,515	△	10,385		
教育活動支出	事業活動支出の部	科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減	
		人件費	1,268,987	1,277,344	△	8,357
教育研究経費	(841,454)	(831,937)	(△)	9,517)		
(減価償却額)	325,397	333,951	△	8,554		
管理経費	(285,011)	(287,635)	(△)	2,624)		
(減価償却額)	94,119	94,460	△	341		
徴収不能額等	3,000	3,000	0			
教育活動支出 計	2,398,452	2,399,916	△	1,464		
教育活動収支差額	△	123,322	△	114,401	△	8,921

(単位 千円)

教育活動外収入	収入業の活動	科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減
		受取利息・配当金	126,000	131,000	△
その他の教育活動外収入	4,000	4,000	0		
教育活動外収入 計	130,000	135,000	△	5,000	
教育活動外支出	支出業の活動	科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減
		借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0		
教育活動外支出 計	0	0	0		
教育活動外収支差額	130,000	135,000	△	5,000	
経常収支差額	6,678	20,599	△	13,921	

(単位 千円)

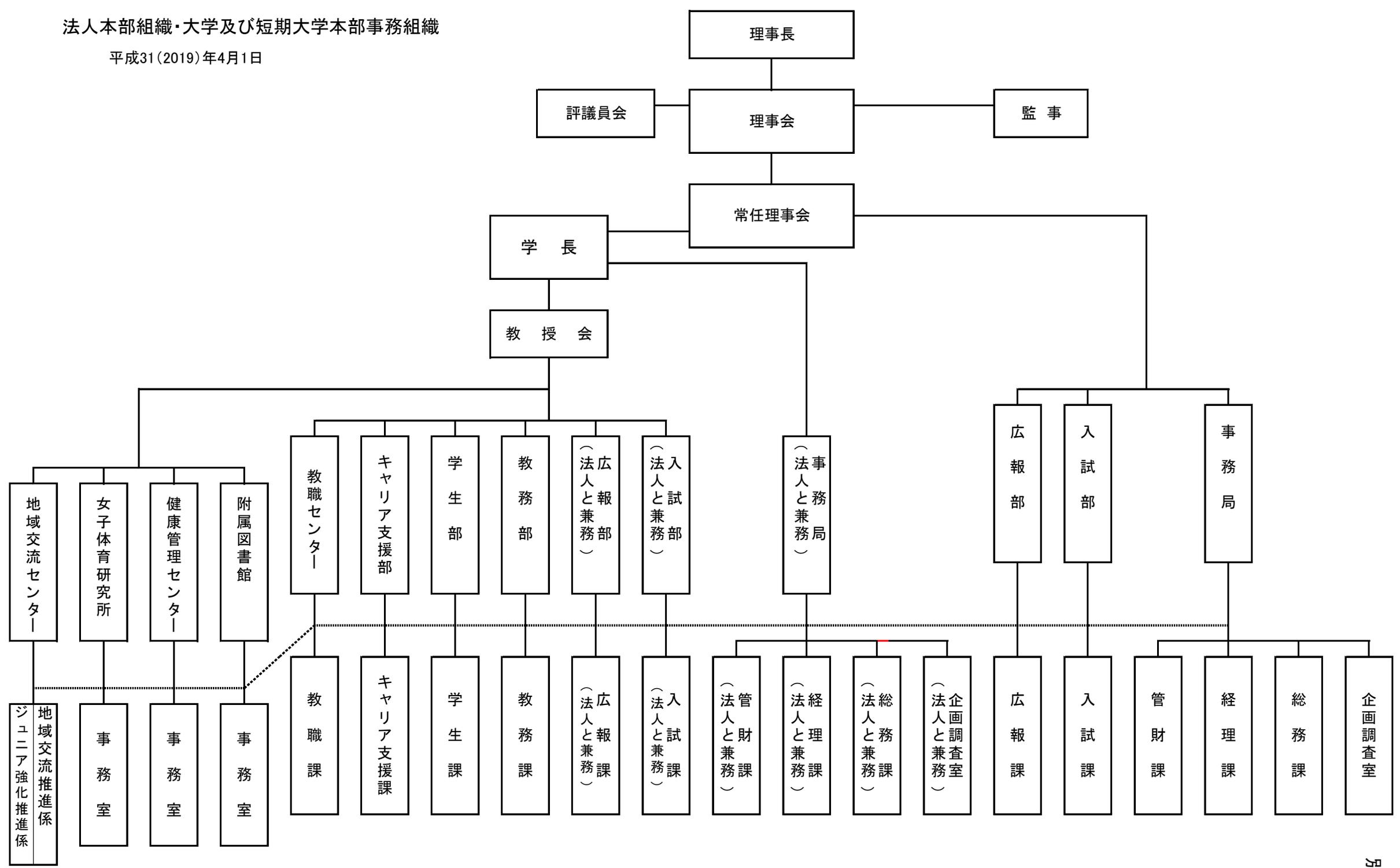
特別収支	収入業の活動	科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減
		資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	31,100	7,100	24,000		
特別収入 計	31,100	7,100	24,000		
特別収支	支出業の活動	科 目	平成31年度予算	平成30年度予算	増減
		資産処分差額	24,000	16,582	7,418
その他の特別支出	0	0	0		
特別支出 計	24,000	16,582	7,418		
特別収支差額	7,100	△	9,482	16,582	
[予備費]	(10,000)	(10,000)	(△)	0)	
基本金組入前当年度収支差額	3,778	1,117	2,661		
基本金組入額合計	△	276,028	△	456,172	180,144
当年度収支差額	△	272,250	△	455,055	182,805
前年度繰越収支差額	794,821	1,249,876	△	455,055	
翌年度繰越収支差額	522,571	794,821	△	272,250	

(参考)

事業活動収入計	2,436,230	2,427,615	8,615
事業活動支出計	2,432,452	2,426,498	5,954

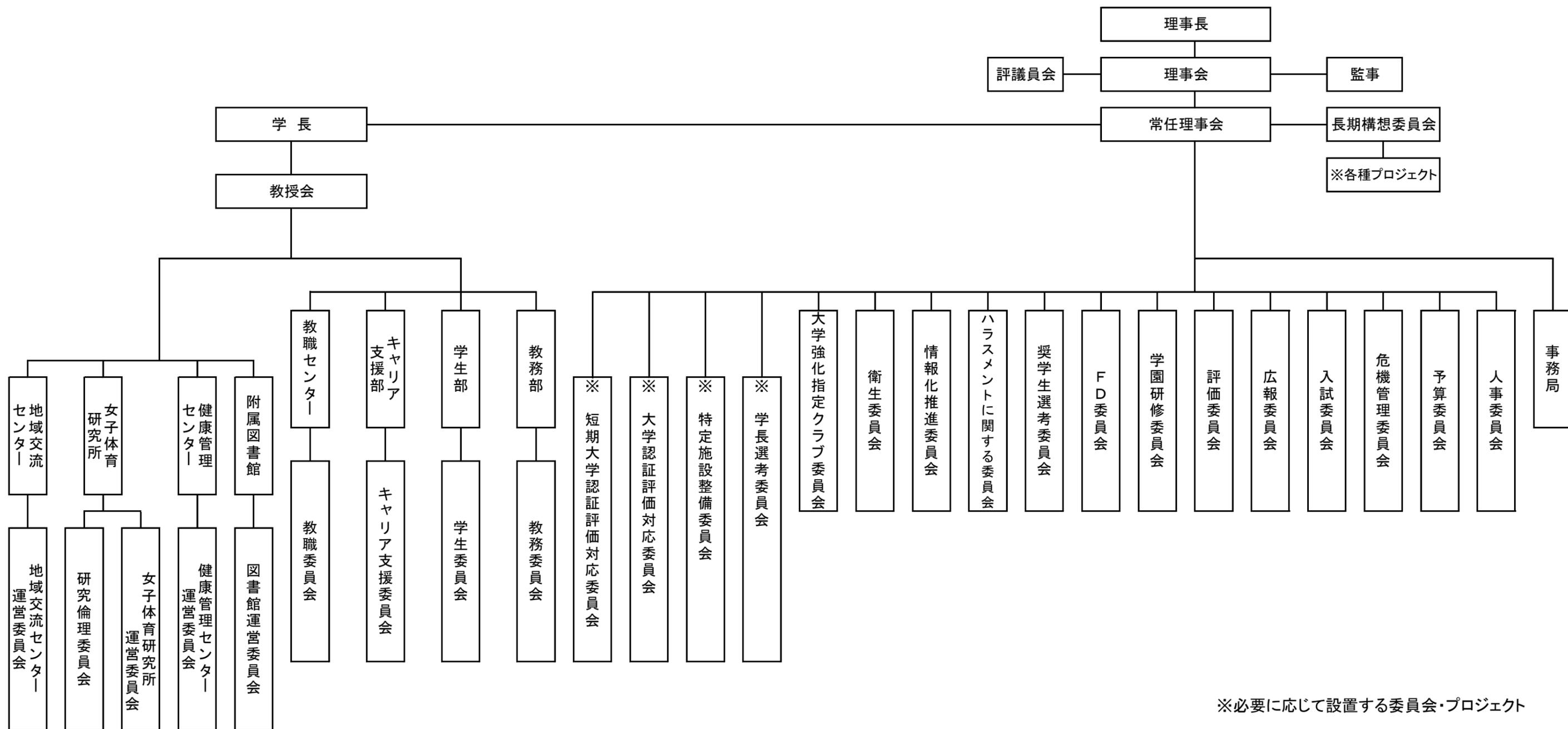
法人本部組織・大学及び短期大学本部事務組織

平成31(2019)年4月1日



法人委員会及び教学委員会組織連関図

平成31(2019)年4月1日



※必要に応じて設置する委員会・プロジェクト

2019年度行事予定表

4						5						6											
日	曜日	大短共通	大学	短大				日	曜日	大短共通	大学	短大				日	曜日	大短共通	大学	短大			
				保体	幼小コース	幼保コース						保体	幼小コース	幼保コース						保体	幼小コース	幼保コース	
						2年生	1年生							2年生	1年生							2年生	1年生
1	月	定例教授会					1	水	天皇即位に伴う祝日						1	土							
2	火	春季休業終了					2	木	国民の休日						2	日							
3	水	入学式 入寮式					3	金	憲法記念日						3	月						教育実習IV (通常授業なし)	
4	木	フレッシュウイーク 履修登録期 学生健診					4	土	みどりの日						4	火							
5	金						5	日	こどもの日						5	水	定例教授会	就職ガイダンス (大3)	就職ガイダンス (保2)				
6	土						6	月	振替休日 (授業あり)						6	木							
7	日						7	火							7	金							
8	月	通常授業開始 授業ガイダンス					8	水	定例教授会						8	土							
9	火						9	木							9	日							
10	水	資格取得ガイダンス (大1,短1)					10	金	創立記念日 (授業あり)						10	月						実習学習 (通常授業なし)	
11	木						11	土							11	火							
12	金						12	日							12	水						1.2校時 通常授業	
13	土						13	月							13	木							
14	日						14	火							14	金							
15	月	教員採用試験 前期対策講座開始					15	水		インターシッ フ ガイダンス (大2,大3)		インターシッ フ ガイダンス (保1)			15	土							
16	火						16	木							16	日	オープンキャンパス						
17	水	履修登録確認期間 体カデスト (授業なし) 教職員健診					17	金							17	月	教員採用試験 直前対策講座 I						
18	木						18	土							18	火							
19	金						19	日							19	水							
20	土						20	月	履修取消期間				2年 教育実習 (小学校)		20	木							
21	日						21	火							21	金							
22	月						22	水							22	土						カヌー (大3・4)	
23	火						23	木							23	日						カヌー (大3・4)	
24	水						24	金							24	月						教員採用試験 直前対策講座 II	
25	木						25	土							25	火							
26	金						26	日							26	水						就職ガイダンス (児1)	
27	土						27	月							27	木							
28	日						28	火							28	金							
29	月	昭和の日					29	水							29	土						オリンピック・パラリンピック プロジェクト	
30	火	国民の休日					30	木							30	日						カヌー (大3・4)	
31							31	金							31								

7						8						9											
日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大					
				保体	幼小コース	幼保コース					保体	幼小コース	幼保コース					保体	幼小コース	幼保コース			
						2年生							1年生							2年生	1年生	2年生	1年生
1	月	前期補講期間 (5校時)					1	木					1	㊦									
2	火						2	金					2	月					追再試験				
3	水	定例教授会					3	土			補講日		3	火					追再試験				
4	木						4	㊦	オープンキャンパス				4	水					保育実習Ⅱ・Ⅲ				
5	金						5	月	介護等体験 社会福祉施設開始				5	木									
6	土						6	火	教員免許状更新講習				6	金									
7	㊦		海浜実習(大3・4) 水泳(含海浜実習) (保1)				7	水					7	土					各課オリエンテーション 学力保障				
8	月						8	木					8	㊦									
9	火						9	金					9	月	教師力養成講座 (観察実習)				教育実習Ⅲ				
10	水	教員免許状一括申請 希望者がガイダンス(大1)					10	土					10	火					教育実習Ⅲ				
11	木						11	㊦	山の日				11	水	定例教授会								
12	金	教員免許状一括申請 希望者がガイダンス(保2, 児2)					12	月	振替休日				12	木									
13	土						13	火					13	金	夏季休業終了								
14	㊦		カヌー (大3・4)				14	水					14	土	I期AO型入試(A日程)								
15	月	海の日 (授業あり)					15	木					15	㊦									
16	火						16	金					16	月	敬老の日								
17	水						17	土					17	火				各課オリエンテーショ ン 学力保障					
18	木						18	㊦					18	水				追再試験					
19	金						19	月					19	木									
20	土	オリンピック・パラリンピック プロジェクト					20	火					20	金									
21	㊦	オープンキャンパス	カヌー (大3・4)				21	水					21	土				各課オリエンテーショ ン					
22	月	教員採用試験 2次対策講座開始					22	木					22	㊦									
23	火						23	金					23	月	秋分の日 (授業あり)				授業ガイダンス				
24	水						24	土					24	火	履修登録修正期間								
25	木						25	㊦					25	水									
26	金						26	月					26	木					野外活動演習(児1)				
27	土						27	火					27	金									
28	㊦						28	水					28	土									
29	月		水曜日の授業				29	木					29	㊦	I期AO型入試(B日程)								
30	火		前期試験				30	金					30	月					就職対策講座Ⅰ (企業)大3,短1 教員採用試験 後期対策講座開始				
31	水						31	土					31										

10							11							12									
日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大					
				保体	幼小コース	幼保コース					保体	幼小コース	幼保コース					保体	幼小コース	幼保コース			
						2年生							1年生							2年生	1年生	2年生	1年生
1	火						1	金	藤園祭準備 (午後授業なし)					1	㊦	オープンキャンパス							
2	水	定例教授会					2	土	藤園祭					2	月	就職対策講座Ⅰ (公務員)大3, 短1							
3	木	履修登録確認期間					3	㊦	藤園祭 (文化の日)					3	火								
4	金						4	月	振替休日 (授業あり) 就職対策講座Ⅰ (企業)大3, 短1					4	水	定例教授会 卒業研究提出締切日							
5	土						5	火						5	木								
6	㊦						6	水	定例教授会	ゼミ所属・専攻コースオリエンテーション (大2・編入希望者) 就職ガイダンス(大4・保2・見2)				6	金								
7	月	就職対策講座Ⅰ (企業)大3, 短1					7	木						7	土								
8	火						8	金		教員免許状一括申請 希望者ガイダンス(大4)				8	㊦								
9	水						9	土						9	月	就職対策講座Ⅰ (公務員)大3, 短1							
10	木						10	㊦						10	火								
11	金						11	月	就職対策講座Ⅰ (公務員)大3, 短1					11	水	卒業研究発表会 (午後授業なし)							
12	土						12	火						12	木								
13	㊦	オープンキャンパス					13	水						13	金								
14	月	体育の日					14	木						14	土								
15	火						15	金	推薦入試 (授業なし)					15	㊦	Ⅱ期AO型入試							
16	水	3年次編入試Ⅰ期	教育実習学生報告会 (5校時)				16	土						16	月	就職対策講座Ⅰ (公務員)大3, 短1	就職活 動学生 報告会 (見1)	就職活 動学生 報告会 (見1)					
17	木						17	㊦						17	火								
18	金						18	月	就職対策講座Ⅰ (公務員)大3, 短1					18	水	臨時教授会							
19	土						19	火						19	木								
20	㊦						20	水	臨時教授会					20	金	就職活動学生報 告会 (大3、保1)							
21	月	就職対策講座Ⅰ (企業)大3, 短1					21	木						21	土								
22	火	即位礼正殿の儀に伴う祝日					22	金						22	㊦								
23	水	臨時教授会					23	土	勤労感謝の日 (授業あり)					23	月								
24	木						24	㊦						24	火	冬季休業開始							
25	金						25	月	就職対策講座Ⅰ (公務員)大3, 短1					25	水								
26	土						26	火						26	木								
27	㊦						27	水						27	金								
28	月	就職対策講座Ⅰ (企業)大3, 短1					28	木						28	土								
29	火						29	金						29	㊦								
30	水	履修取消期間					30	土						30	月								
31	木						31							31	火								

1							2							3									
日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大			日	曜日	大短共通	大学	短大					
				保体	幼小コース	幼保コース					保体	幼小コース	幼保コース					保体	幼小コース	幼保コース			
						2年生							1年生							2年生	1年生	2年生	1年生
1	水	元日					1	土	一般入試Ⅰ期 センター試験利用入試Ⅰ期 3年次編入試Ⅱ期 (授業なし)					1	㊤								
2	木						2	㊤						2	月				保育実習Ⅰ (施設)				
3	金						3	月	後期試験					3	火								
4	土						4	火	学力保障			創作オペレッタ		4	水	定例教授会							
5	㊤						5	水	定例教授会 学力保障					5	木								
6	月						6	木	追再試験					6	金	Ⅲ期AO型入試 センター試験利用入試Ⅱ期							
7	火	冬季休業終了					7	金						7	土								
8	水	9/23の振替休業日 全学停電					8	土						8	㊤								
9	木	振替・補講日					9	㊤						9	月	臨時教授会							
10	金	振替・補講期間(5校 時) 筆記試験対策講座(本短)					10	月	就職対策講座Ⅱ 大3,短1 教員採用試験対策 春期集中講座開始			保育実習Ⅰ (保育所)		10	火								
11	土						11	火	建国記念日					11	水	春季休業開始							
12	㊤						12	水	臨時教授会					12	木								
13	月	成人の日					13	木						13	金								
14	火						14	金						14	土								
15	水	定例教授会 介護等体験希望者ガイダンス (大1,大2,他希望者)					15	土	一般入試Ⅱ期					15	㊤	オープンキャンパス							
16	木						16	㊤		スノーボード実習				16	月								
17	金						17	月	保育士試験対策講座					17	火								
18	土	大学入試センター試験 (授業あり)					18	火						18	水								
19	㊤	大学入試センター試験					19	水	臨時教授会					19	木	卒業生ガイダンス							
20	月						20	木						20	金	春分の日 卒業式							
21	火						21	金		スキー実習				21	土								
22	水	研究フォーラム					22	土						22	㊤								
23	木						23	㊤	天皇誕生日					23	月								
24	金	教員採用試験 後期対策講座終了					24	月	振替休日 教師力養成講座 (観察実習)					24	火								
25	土						25	火						25	水								
26	㊤						26	水	臨時教授会 教員免許一括申請者決定 海外英語・文化講座					26	木								
27	月						27	木						27	金								
28	火						28	金						28	土								
29	水	後期試験					29	土						29	㊤								
30	木						30							30	月								
31	金						31							31	火								